

事務事業評価シート

(H.29)No.	6217	(H.28)No.	1124-3
-----------	------	-----------	--------

事務事業名	景観計画策定事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	都市計画室	田中 康生	

会計区分	事業コード	410509
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	都市計画総務費	
項 都市計画費	(小事業名)	
目 都市計画総務費	景観計画策定事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	4	魅力的な都市環境づくり
	施策	2	都市計画
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
名張市が持つ景観特性を活かしたまちづくりを進めることで、まちの魅力や都市としての品格を高め、市民が将来にわたって長く暮らし続けたいと思えるまちを形成します。
事業内容
良好な景観形成を行うべく本市独自の景観施策や景観まちづくりに取り組み、景観法に基づく名張市景観計画の策定や名張市景観条例を制定し、平成32年度からの運用を目指します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	・景観まちづくり講座(三重県景観アドバイザー制度を活用)		・景観まちづくり講座 ・景観行政団体への移行準備 ・景観計画策定準備	
	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)		
	・景観まちづくり講座 開催15千円 ・市独自条例の検討 ・景観計画策定準備	・景観計画策定委託 1,100千円 ・景観計画の策定委員会開催 400千円 ・パブコメ募集、住民説明会等 500千円	・景観審議会報酬 300千円 ・ガイドラインの印刷や新制度の周知広報等 700千円 ・市独自条例の運用		

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		0千円		15千円	15千円	2,000千円	1,000千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()				0	0	
	一般財源	0	0	0	15	15	2,000
人工数	職員		0.50人	0.65人	0.65人	0.65人	0.65人
	臨時職員等		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	3,750千円	0千円	4,875千円	4,875千円	4,875千円	4,875千円
①+②総事業費	0千円	3,750千円	0千円	4,890千円	4,890千円	6,875千円	5,875千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
「公共事業における景観まちづくりへのアプローチ」として、市内事業者、職員を対象とした景観まちづくり講座を開催しました。また、「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議(座長:内閣総理大臣)」において示された、平成32年度を目標に主要な観光地で景観計画を策定するとしての方針を受け、国土交通省から文書が発出されるなど、景観計画の策定期間については配慮が必要となっています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
県内では既に9市が景観行政団体となり、独自の景観計画を策定しており、当市においても地域特性を活かしたまちづくりの取組など、良質な地域コミュニティの醸成や都市と地域の価値を高める取組を進める必要があります。	